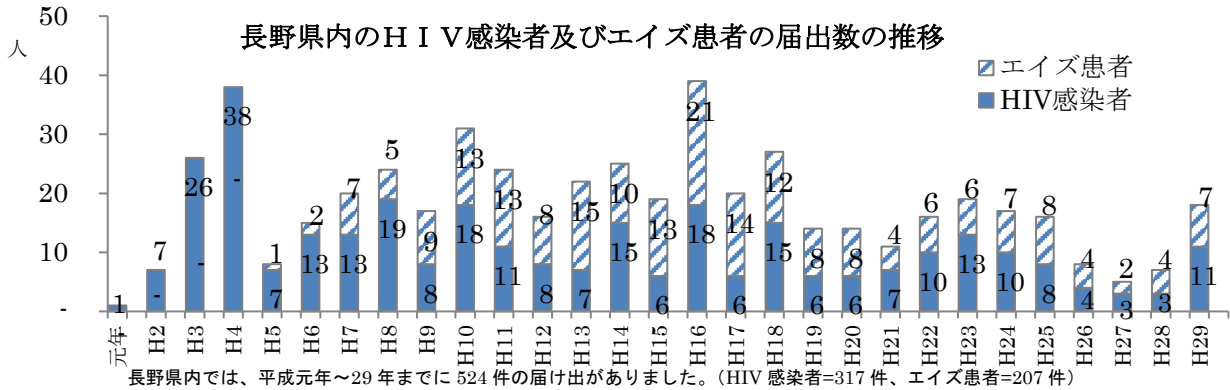


6月1日～7日は「エイズ予防ウィーク in NAGANO」です

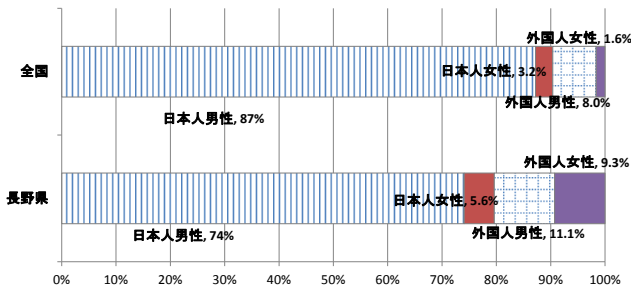
1 HIV感染者及びエイズ患者届出数の推移（長野県内）



長野県内では、平成元年～29年までに524件の届け出がありました。（HIV感染者=317件、エイズ患者=207件）
過去5年で平均すると、毎年約10件の届け出があることとなります。

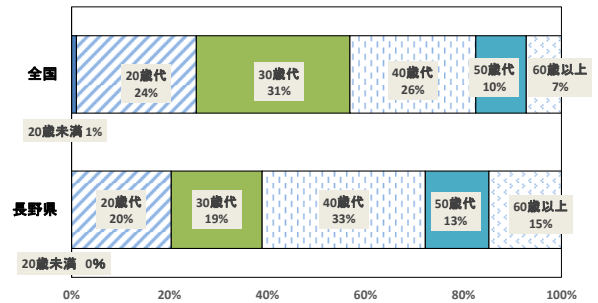
2 近年の届出事例の特徴（[長野県：H25～29年、n=54]、[全国：H24～28年、n=7469]）

(1) 国籍別・性別



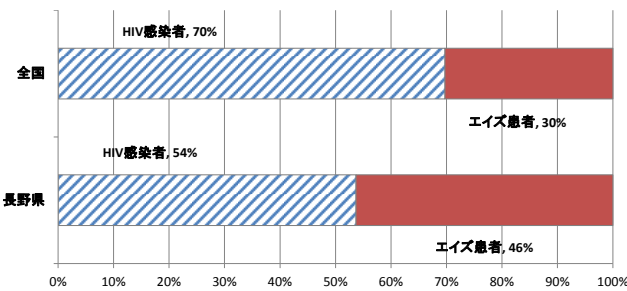
全国、長野県ともに日本人男性の割合が高い状態です。
長野県は、全国に比べて外国人の割合が高くなっています。

(2) 年代別

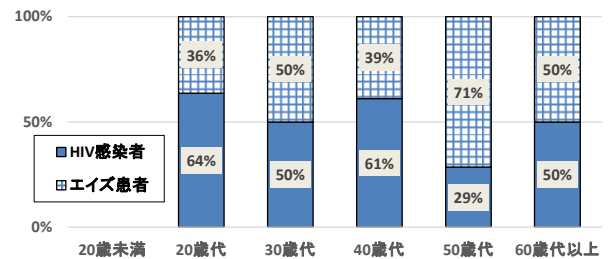


全国では40歳以上が占める割合は約4割ですが、長野県では約6割を占めています。

(3) HIV感染者及びエイズ患者の割合

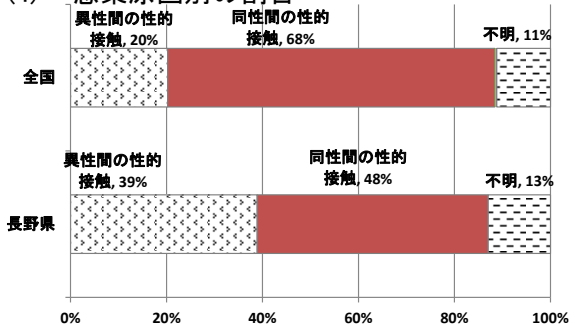


診断時に既にエイズを発症している割合は、全国では3割ですが、長野県では約5割となっています。



長野県において診断時に既にエイズを発症している割合は、50歳代で7割と特に多く、また20歳代の若年層でも約4割となっています。

(4) 感染原因別の割合



全国では同性間の性的接触の割合が高いのに対し、長野県では異性間の性的接触は約4割と同性間の性的接触と近い割合となっています。

HIV検査のススメ

★早期発見・早期治療が大切です！★

HIVに感染した場合でも、早期に発見し適切な治療を続けることで、エイズの発症を抑えることができます。診断時に既にエイズを発症している割合が高いのは、早期発見・早期治療の機会を逃していることを示しています。

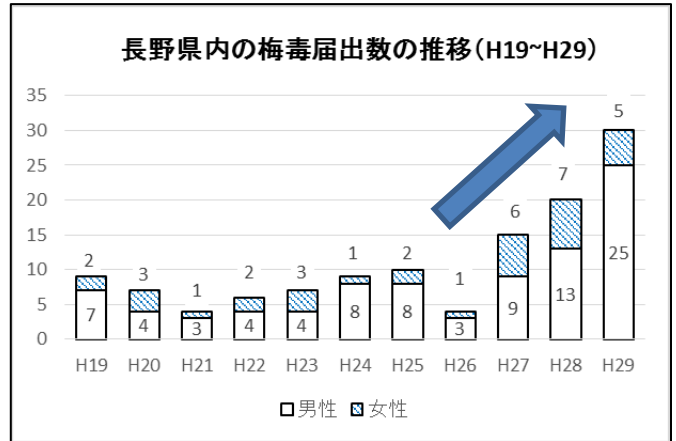
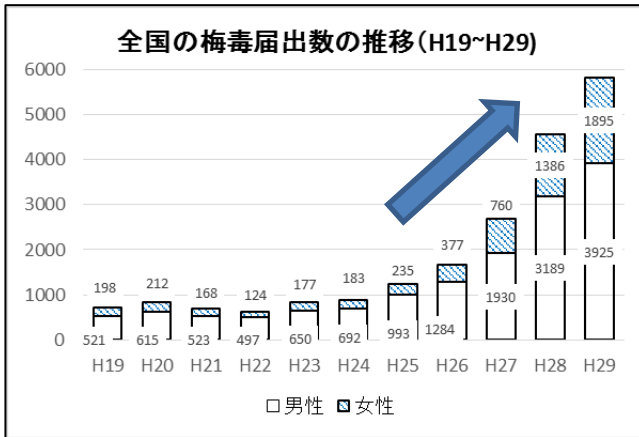
★感染拡大の防止★

HIVの感染はそのほとんどが性的接触によるものです。リスクのある性体験があれば感染している可能性があります。HIVに感染してもすぐには自覚症状が現れないため、気が付かないまま感染を広げてしまう場合もあります。自身の感染の有無を知ることは、大切なパートナーを守ることに繋がります。

梅毒の届出が急増しています！

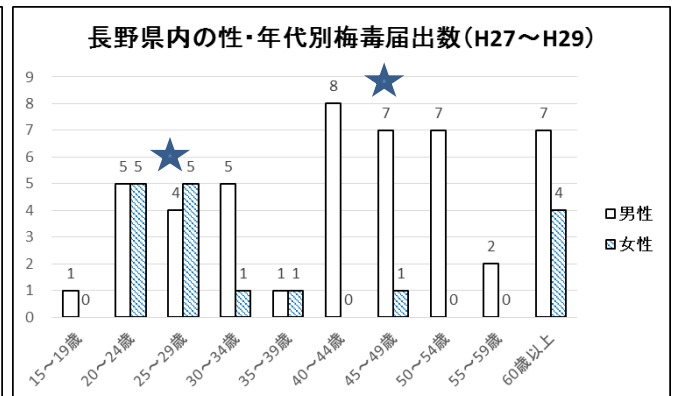
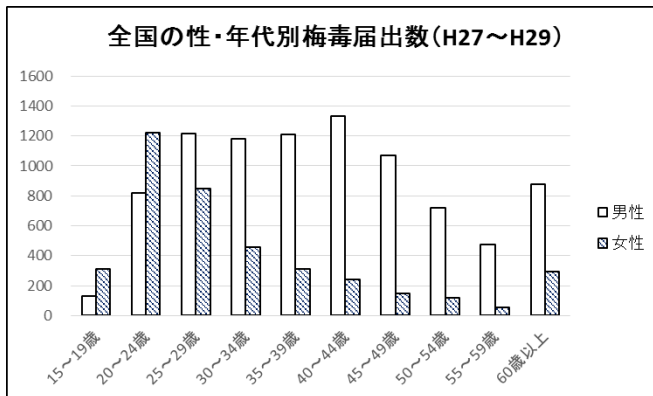
- * 梅毒は梅毒トレポネーマという細菌による感染症で、主に性行為によって人から人へ感染します。
- * 感染すると痛みのない潰瘍が性器に形成され、治療せずにいると全身の皮疹・リンパ節の腫脹、さらには数年～数十年後には血管や神経の障害等、全身に多様な症状をきたすことがあります。
- * 妊婦の感染は早産や死産、胎児の重篤な異常につながる可能性があります。

1. 梅毒の届出数の推移(男女別)



- ・全国では、H24 まで 1,000 件に満たなかった梅毒の届出数は増え続け、平成 29 年には 5,770 件となっています。
- ・県内においても、H27 年より届出数は増加傾向となっており、平成 29 年には 30 件と5年前(H24年)の約3倍になっています。

2. 性別・年代別届出状況(H27~H29)



- ・全国では男性については 20 代以上の年代で幅広く感染が拡大しています。女性については特に 20 代前半の届出が多くなっています。
- ・県内では男性は 40 代～50 代前半に多く、男性の届出件数の約半数を占めています。女性については全国同様、20 代の患者が多い傾向にあります。

3. 感染をしない/させないために

- * コンドームの適切な使用によって感染のリスクを減らすことができます。
- * 早期治療が大切です。性器等に今までなかったしこりができた、皮膚に赤い発疹が出てきた等梅毒を疑う症状がある場合には早めに医療機関を受診しましょう。
- * 県内の保健所（県保健福祉事務所、長野市保健所）では、匿名・無料で性感染症に関する相談・検査（梅毒、HIV、クラミジア）を実施しています。予約制となっておりますので、相談・検査を希望される方は最寄りの保健所にお問い合わせください。